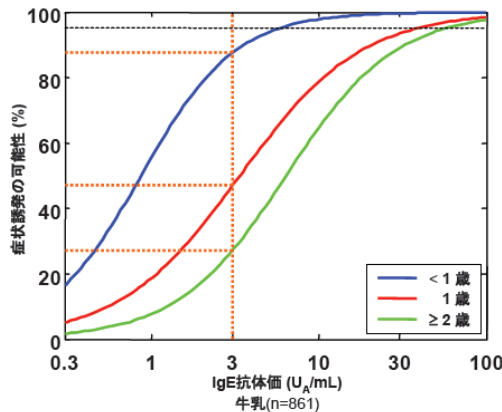


## 今月から「食物経口負荷試験」を始めました。

食物アレルギーの診断は、「血液検査」とこれまでに食べて症状が出たという「既往歴」で判断してきました。血液検査でラストスコアがクラス2とかクラス3の陽性でも、実際に食べても症状が出ない場合もあり、また逆にクラス1でも症状が出る場合もあります。

そこで**血液検査の特異的抗体値と症状誘発率を示すデータ**があります。



例えば、牛乳に対する特異的IgE抗体値が3.0だったとします。ちなみに抗体値（測定値）が0.7～3.4まではクラス2です。同じ抗体値3.0を示していても、**1歳未満児で実際に症状が出る確率は90%、1歳児では50%、2歳以上の児では30%にしか症状が出ないという違い**があります。つまり、**年齢によって症状の出現率が異なり、年齢が高くなるにつれて症状が出にくくなるのです。これを耐性化している**と言います。

ある報告では血液検査の陽性率（クラス2以上を陽性としています）に比較して、実際の食物経口負荷試験による陽性率はその約1/2とされています。つまり**血液検査では偽陽性が半数に出るため、不必要な除去食を指導し**

**てしまう欠点があります。**

そこで今月から当院においても「食物経口負荷試験」を始めました。アレルギーが疑われる食物を実際に院内で食べてもらい、アレルギー症状が出るかを観察する検査です。

この検査によって、どのくらいの量を食べたなら症状が出るのかを直接確認することができます。症状が出なければ今まで除去していた食物制限が解除されます。症状が出た場合でも、安全に食べられる量が確認できれば、少しずつ摂取を開始できる可能性があります。

検査を受けたい方は前もって実施内容の説明を受けて予約し、当日の午前9時前に来院していただきます。

家で準備してきた食物（ゆで卵、牛乳、うどん、豆腐など）を少量から20分間隔で増量しながら食べてもらいます。検査中は、専属のナースが症状の有無を終始経過観察しますので安全に行われます。検査時間は2～3時間で午前中には終わる予定です。

**除去食を行っている皆さん、「食物経口負荷試験」を受けて除去食を解除しませんか！**但し、負荷試験を受けることができる状況なのか、血液検査や既往歴を参考にして判断します。

なお、当院は「小児食物アレルギー負荷試験」を実施できる施設として厚生労働省から許可をもらっていますので保険適応があります。費用は2割負担として「2,000円+再診料」です。

（たまなは）